

§ インフルエンザ予防接種後の注意事項 §

○ 接種後、10分～15分は経過をみて下さい。

(過敏症) まれに発疹・蕁麻疹・かゆみ・赤くなったりする事があります。

その後、症状が増強したり咳や痰、呼吸が苦しくなったりした時には、直ちに病院に連絡して下さい。

(全身症状) 発熱・悪寒・頭痛・だるさ・嘔吐等を認める事があります。

たいていは2～3日中に消失します。しかし、熱が38℃以上の症状がある場合は、医療機関にご相談して下さい。

(局所症状) 接種部位が赤くなったり、腫れたり、痛みなどを認める事があります。

たいていは2～3日中に消失しますので、様子を見て構いません。

《接種直後から数日中に、上記の副反応が現れる場合があります。現れた場合は次回接種時ご注意下さい》

○ 接種した部位は、もんだりこすったりしないで下さい

(薬液がもれてしまう恐れがあります)

○ 接種当日、入浴しても構いませんが、接種部位をこすらないようにして下さい

(ただし、熱があつたり元気がなかつたりする時は入浴を控えて下さい)

○ 接種部位を不潔にしないように注意して下さい

(例えば、絆創膏を貼り、貼ったままにしていると、逆に菌の繁殖を招き不潔になってしまいますので絆創膏は30分位経ちましたらはがして下さい。その後も絆創膏などは、貼らないで下さい)

○ アルコールの大量摂取及び過激な運動は避けて下さい。

(安静を守る必要はなく、普通に生活して構いません)

《他に予防接種をする場合、以下の事にご注意して下さい》

○ インフルエンザワクチン接種後に他のワクチンを接種する場合は、1週間以上空いている事を確認して下さい。

* インフルエンザワクチン接種後少数の方に、インフルエンザと同等症状または、免疫力が低下している場合に、インフルエンザにかかる場合があります。日頃からの予防を心がけて下さい。

【医療法人社団 創造会 平和台病院】